

当院で実施中の臨床研究「パーキンソン病患者における加齢黄斑変性病変に関する検討」へご参加された
患者さんまたはご家族の方
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この度、下記研究で期間延長の変更がございました。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

変更内容：研究実施期間 2025 年 12 月 31 日→2031 年 3 月 31 日

〔研究課題名〕 パーキンソン病患者における加齢黄斑変性病変に関する検討

〔研究機関名・長の氏名〕 北海道大学病院 渥美 達也

〔研究責任者名・所属〕 安藤 亮（医学研究院眼科学教室・講師）

〔研究の目的〕

パーキンソン病の患者さんでは加齢黄斑変性の発症リスクが高いと報告されています。しかしながら、パーキンソン病の患者さんにおける加齢黄斑変性の前駆病変の詳細は知られていません。本研究では、パーキンソン病の患者さんの眼所見を解析し、対照群である北海道大学病院眼科で白内障手術を施行したパーキンソン病のない患者さんとの間で、加齢黄斑変性の前駆病変を含めた眼所見に違いがあるのかどうかを比較します。

〔研究の方法〕

○対象となる患者さん

2024 年 12 月 31 日までに臨床研究「パーキンソン病患者における加齢黄斑変性病変に関する検討」（生 022-0222）への参加に同意された方

この研究は以下のいずれかに該当する方を対象にしています。

- ・北海道大学病院神経内科でパーキンソン病と診断されている患者さんのうち、北海道大学眼科に受診された患者さん
- ・北海道大学病院眼科で白内障手術を施行したパーキンソン病のない患者さん

○利用するカルテ情報

- ① 背景情報：年齢、性別、診断名、病歴、治療歴、パーキンソン病の重症度（Hoehn&Yahrの重症度分類）と罹病期間
- ② 自覚的検査結果：視力
- ③ 他覚的検査結果：屈折値、眼圧、カラー眼底写真：AMDおよび前駆病変の有無と病変面積、光干渉断層計における中心窩下脈絡膜厚および網膜内層厚、眼底自発蛍光：AMDおよび前駆病変の有無と病変面積（造影剤などを使用する検査ではなく、

2025 年 3 月 12 日（第 1 版）

眼底において自発的に発せられる蛍光を撮影する検査である)、レーザーフレアメーターにおける眼内フレア値

[研究実施期間] 実施許可日～2031年3月31日（登録締切期間2030年3月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院眼科 担当医師 安藤 亮

電話 011-706-5944 FAX 011-706-5948